

ひがなかの子

令和 5年 7月 3日発行 第7号 文責：門田



* 1学期のまとめに向け、体調管理に気をつけよう

今日は雨の月曜日となりました。このところ、梅雨時特有の蒸し暑い日々が続いていますが、子どもたちは、晴れた日の休み時間ともなると校庭に出て、上級生と下級生が仲よく遊んでいます。

これから学校は、今学期の学習や生活の振り返りとまとめ等、夏休みに向けての準備に入ります。15日(土)には、今学期最後の行事となる校内水泳大会と個人面談を予定しています。

学期末に向かうこれからの季節、疲れも重なり子どもたちも体調をくずしやすくなりがちです。学校では、これまで以上に、朝の健康観察の他、教室においても熱中症に注意を払いながら、小まめな水分補給等の声かけをしております。ご家庭でも帽子、タオルや水筒などの持ち物の準備や、体や心の健康の基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」で十分な睡眠と栄養をとり、規則正しい生活を送れるよう、ご配慮と声かけをお願いいたします。

7月7日は七夕です。皆さんの家から夜空に輝く織姫星(べが)と彦星(アルタイル)が見られますように、そして、短冊に書かれたひがなかっ子たちの願い事がどうぞ叶いますように…



○ 道徳参観日と親子情報モラル教室の開催

6月11日(日)の参観日は、道徳参観日として、全学級の道徳参観授業と、道徳アンケートをお願いいたしました。当日は、多くの保護者や家族の皆様方のご参観、ありがとうございました。

各学級で行われた授業は、教科書の教材を使いながら、道徳的テーマ



(価値)について、文科省が示す、対話し、お互いの意見を聞きながら自分の考えを深めていく、「考え議論する道徳」となっていたでしょうか。道徳的な価値観は、決めつけられるものでもありませんし、押し付けることもできません。学校生活や、社会生活の中での様々な経験、周りの大人や友達の意見、成功や失敗に出会う中で、よりよい生き方や、よりよい在り方について、自問自答しながら自分なりの答えを見つけていってくれたらよいのではと考えます。

これからも、本校の特色ある学校づくりの一つである「豊かな心を育む」道徳教育の充実を目ざして、学校、家庭、そして地域と連携した取り組みを推し進めていきたいと思っております。



まりちゃんとあさがお



ポケット二つ



正しいことは勇気をもって



自由という名の席

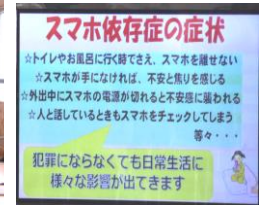


親子情報モラル教室

続く、親子情報モラル教室では、全校児童と保護者の皆様方を対象に中村警察署少年育成指導官の佐々木美紀さんを講師に、ネット社会の恐ろしさ等について、お話をしていただき、次のような概要でした。

・いじめはネット内でも起きている。県下の学校で最も多いトラブルが、悪口や嫌がらせ画像の投稿と送信である。

・ネット犯罪に合わないために、怪しいメールは無視する、個人情報は



絶対に流さないように。

- ・ゲーム機から被害にあった例もある。自画撮り画像の送信、相手を簡単に信用してはいけない、画像が一度流出してしまうと回収は困難
- ・スマホ依存症について、トイレやお風呂でも手放せないなど、犯罪にならなくても日常生活に様々な影響が出る。
- ・家庭でのルールづくりが大事、幡多っ子ネット宣言の活用
- ・インターネットを上手に使い、犯罪の加害者にも被害者にもならないようにしてほしい。

○不審者対応避難訓練と防犯教室を行いました



6月20日(火)の午後、不審者から身を守り安全な避難方法を体得させ学ぶ、訓練を行いました。令和元年度以来となった今年度は、中村警察署と有岡駐在所から3名の署員さん、スクールサポーターの小谷さんにお世話になっての実施となりました。まず、3・4年生教室

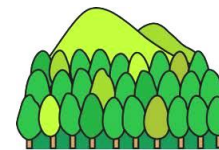
に不審者が侵入したという想定のもと、訓練が始まり、教員は不審者を刺激しないように穏やかに話しながら児童との間に入り避難させます。児童は、担任と共に所定の集合場所に避難して静かに身を隠します。職員室では、避難を促す合図と並行して110番通報、校長が教室に急行して、パトカーが駆けつけ、不審者役を取り押さえるまで持ちこたえる、というものでした。いざという時には、この訓練をしていることで、危機的状況でも慌てず、騒がず、避難する動きや冷静に対処できる生き抜く力がはぐくまれるものと思います。

その後、児童は体育館で防犯教室を、教職員は、訓練の振り返りと不審者への対応策について署員の方々から指導を受けました。

教室では、きよりをとる うしろに気をつける はやめにかえる ついていかない しらないひとのくるまにのらない おおごえをだす すぐにげる おとなにしらせる 1人であそばない 出かける前にだれとどこであそぶのかしらせる「きょうは、いかにのおすし、いちにんまえ」を学びました。この他、不審者に出会った時の対応の仕方を役割演技で体

験したり、川遊びは保護者と、一人では行かない等の注意がありました。今後も絶対に犯罪に巻き込まれないよう、自分の身は自分で守ることができるよう、教えていただいた合言葉や約束を守って遊びましょう！

○ひがなか小5年生 森林環境体験学習 in 西土佐



6月23日(金)、恒例となりました5年生の環境体験学習を実施しました。前日、市役所生涯学習課の川村



さんをお招きして、西土佐・黒尊地区の豊かな自然環境と生活についての事前学習で、わくわく感は一層高まり、当日朝は、校舎からの「いってらっしゃーい」の声に送られ、バスに乗り込み、黒尊(大駄場)神殿橋を目ざ

しました。暑すぎず気持ちの良い晴天にも恵まれ、午前中は、次の史跡をバスと徒歩で回りました。

・神殿橋→森林鉄道軌道跡ほか→黒尊神社奥の院(ご神体は大蛇と言われ、神社前の黒尊淵に生卵を投げ入れ、割れなければ願い事が叶います)→黒尊神社(樹齢500年の大杉等)→お菊の滝(皿屋敷伝説)を訪ね、奥屋内下集会所で昼食をとり、午後からは、四万十学舎(中半)へ移動しました。



学舎では、インストラクターの方にご指導いただいて、楽しみにしていたカヌー体験と河原では、磁石がくっつく不思議な石、蛇紋岩を探し出すこともできました。

この日は、環境学習と自然の中でのたくさんの貴重な体験ができました。ここで見せた、どの活動にも意欲的・積極的に取り組む姿勢や、思いやりの心を持った言葉がけや行動等、この森林環境学習を通じて学んだことや気が付かされた事をこれからの日々の生活に、



そして、来年度の3校連合修学旅行にも活かしていきたいと思います！